

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
八幡中央病院増築

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40					3.4
1 音環境		3.0	0.15	2.7	1.00			2.9
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 空調騒音対策			-		-			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.3	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		2.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		3.3	0.35	3.2	1.00			3.2
2.1 室温制御		3.6	0.50	3.4	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 負荷変動・過熱制御性			-		-			
3 外皮性能	Lew-Eガラス等設置	4.0	0.25	4.0	0.43			
4 ゾーン別制御性	東西で系統を分け、3,4Fに冷暖切換型、2Fに冷暖フリー型の採用	4.0	0.38		-			
5 温度・湿度制御			-		-			
6 個別制御			-		-			
7 時間外空調に対する配慮			-		-			
8 監視システム			-		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00			3.0
3.1 昼光利用		4.0	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	居室に対して十分な開口を設置	4.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口			-	3.0	-			
3 昼光利用設備	4階廊下にトップライトを設置	4.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア			-		-			
2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3 採り込み対策			-		-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気環境		4.5	0.25	4.5	1.00			4.5
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆とVOCを発生しない建材を全面的に使用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策			-		-			
3 放射性物質			-		-			
4 レンコ対策			-		-			
4.2 換気		3.5	0.30	3.6	0.38			
1 換気量	換気回数2回とし、30CMH/人以上確保	4.0	0.50	4.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画			-		-			
4.3 運用管理		5.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		5.0	-		-			
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00		-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		3.3	0.40	4.4	1.00			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-		-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮	5.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
3 衛生管理業務			-		-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31	-	-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニル床シート、ビニルクロス各20年	5.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.4 信頼性			2.8	0.19				
1	空調・換気設備		1.0	0.20				
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20				
3	電気設備	給水ポンプを非常用発電機負荷とし、停電時に備える	4.0	0.20				
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20				
5	通信・情報設備		3.0	0.20				
3 対応性・更新性			2.9	0.29	2.4	1.00	2.8	
3.1 空間のゆとり			2.8	0.31	1.8	0.50		
1	階高のゆとり		2.0	0.60	1.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	耐力壁を少なくする	4.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性			3.0	0.38				
1	空調配管の更新性		3.0	0.17				
2	給排水管の更新性		3.0	0.17				
3	電気配線の更新性		3.0	0.11				
4	通信配線の更新性		3.0	0.11				
5	設備機器の更新性		3.0	0.22				
6	バックアップスペース		3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.4	
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30			2.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0	
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50				
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50				
3 設備システムの高効率化			2.2	0.30			2.2	
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=1.1%	2.0					
集合住宅の評価			3.0					
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0	
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6	
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0	
1.1	節水		3.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63			3.7	
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07				
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24				
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20				
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床タイル(サンゲツOT)、床タイル(ピアッツァOX)、手洗器	5.0	0.20				
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05				
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	分別可能・再利用できるユニット材を使用	5.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22			4.0	
3.1	有害物質を含まない材料の使用	製品安全データシートを確認	4.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68				
1	消火剤	不活性ガス消火剤	4.0	0.33				
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン製品使用	5.0	0.33				
3	冷媒		3.0	0.33				
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7	
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-	
2 地域環境への配慮			2.5	0.50			2.5	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25				
1	雨水排水負荷低減		-	-				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33				
3	交通負荷抑制	駐輪所と駐車場の整備	5.0	0.33				
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.50			3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	0.50				
2	振動		3.0	0.50				
3	悪臭		-	-				
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40				
1	風害の抑制		2.0	0.70				
2	砂塵の抑制		3.0	-				
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			4.4	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ガイドラインに沿った計画	5.0	0.70				
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				